

プロジェクト名: キンタナ・ロー州マヤ族居住地域女性支援計画

対象地域: キンタナ・ロー州(ホセ・マリア・モロス市およびラサロ・カルデナス市)
 ターゲットグループ: 女性庁・研修経済開発部と支所

協力期間: 2007年3月～2010年3月

別添 2-1PDM2
 作成: 2009年8月

| 上位目標 | プロジェクトの要約 | 指標 | 入手手段 | 外部条件 |
|---|---|---|---|---|
| <p>民芸品改善・開発支援プログラム(以下、「支援プログラム」と略記)を活用して支援を受けた女性グループの収入が向上する。</p> | <p>プロジェクトの要約</p> | <p>・支援によって得られた女性の収入が増加する。 ・支援プログラムを活用して改善・開発された民芸品の種類が増加する。 ・支援プログラムが適用された女性グループの数が増加する。 ・高級ブティック・民芸品店に納品された民芸品の数が増加する。</p> | <p>・支援プログラムを受けたグループへのインタビュー ・支援モニタリング記録</p> | <p>・地域に決定的なダメージを引き起こす災害(洪水、旱魃、ハリケーンなど)が起こらない ・支援プログラムに関係する組織が合意書に署名する。</p> |
| <p>女性庁・研修経済開発部による女性グループへの支援プログラムが確立される。</p> | <p>女性庁・研修経済開発部による女性グループへの支援プログラムが確立される。</p> | <p>・支援プログラムが作成されている。 ・対象コミュニティで実施した活動を通して、民芸品生産のための研修ガイドが作成されている。 ・支援プログラム実施のための業務マニュアルが作成されている。</p> | <p>・女性庁によって承認された支援プログラム</p> | <p>・地域に決定的なダメージを引き起こす災害(洪水、旱魃、ハリケーンなど)が起こらない ・支援プログラムに関係する組織が合意書に署名する。</p> |
| <p>調査機能の強化: 現状の把握や活動を実施するために必要な情報が収集・整理される。</p> | <p>調査機能の強化: 現状の把握や活動を実施するために必要な情報が収集・整理される。</p> | <p>1-1. キンタナ・ロー州の民芸品市場の現状調査が実施され情報が報告書にまとめられ、更新されている。 1-2. プロジェクト対象地域の村落の現状調査が実施され情報が報告書にまとめられ、更新されている。</p> | <p>・民芸品市場調査報告書 ・対象地域(3つの市)の農村簡易調査報告書 ・プロジェクトの週間報告</p> | <p>・地域に決定的なダメージを引き起こす災害(洪水、旱魃、ハリケーンなど)が起こらない</p> |
| <p>運営管理機能の強化: 支援プログラムの業務マニュアルを作成することで、女性庁研修経済開発部の運営管理能力が改善される。</p> | <p>運営管理機能の強化: 支援プログラムの業務マニュアルを作成することで、女性庁研修経済開発部の運営管理能力が改善される。</p> | <p>2-1. 研修経済開発部の業務手順マニュアルが作成されている。 2-2. 支援プログラムの業務マニュアルが作成されている。</p> | <p>・研修経済開発部の業務手順マニュアル ・プロジェクト業務進捗報告書 ・支援プログラムの業務マニュアル</p> | <p>・地域に決定的なダメージを引き起こす災害(洪水、旱魃、ハリケーンなど)が起こらない</p> |
| <p>調整・連携機能の強化: 支援プログラムの実施を目的に、女性庁研修経済開発部と関係組織との調整及び連携が構築される。</p> | <p>調整・連携機能の強化: 支援プログラムの実施を目的に、女性庁研修経済開発部と関係組織との調整及び連携が構築される。</p> | <p>3-1. 支援スキーム活用ガイド(相談窓口、パンフなど)案が作成されている。 3-2. 民芸品を作成する女性グループが受けられる支援スキームを持つ関係機関と会議が開催されている。 3-3. 民芸品製作者と協力者/民芸品販売店とのマッチングの機会(品評会や商品紹介イベントなど)が年に2回以上実施される。</p> | <p>・作成された活用ガイド(案) ・会議の議事録 ・業務進捗報告書(マッチングに関する箇所)</p> | <p>・地域に決定的なダメージを引き起こす災害(洪水、旱魃、ハリケーンなど)が起こらない</p> |
| <p>支援プログラムの構築: 女性庁研修経済開発部と関係支所による対象女性グループへの実証プロジェクトを通して、民芸品生産のための研修ガイドが作成される。</p> | <p>支援プログラムの構築: 女性庁研修経済開発部と関係支所による対象女性グループへの実証プロジェクトを通して、民芸品生産のための研修ガイドが作成される。</p> | <p>4-1. 改善・開発された民芸品の種類が増加する。 4-2. 改善・開発された民芸品の品質の評価が向上する。 4-3. 改善・開発された民芸品の販売が増える。 4-4. プロジェクトの支援を受けた女性グループの能力が向上する(意識、知識面等)。 4-5. 民芸品生産のための研修ガイドが作成されている。 5-1. プロジェクト情報管理の仕組みができていく。 5-2. C/P 職員が情報システムで有益な情報を更新している。 5-3. プロジェクトで活用された情報システムが、女性庁の情報システムの導入に導入されている。</p> | <p>・改善・開発された民芸品の数 ・販売記録 ・対象グループへのインタビュー ・民芸品生産のための研修ガイド ・情報の種類別に整理できる仕組み ・情報システムへの更新記録 ・C/P へのインタビューや調査票の実施 ・女性庁の情報システムの確認</p> | <p>・地域に決定的なダメージを引き起こす災害(洪水、旱魃、ハリケーンなど)が起こらない</p> |

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| <p>活動</p> <p>1-1. 女性や女性グループが受けられる支援スキームの情報を整理し、取りまとめる。</p> <p>1-2. 市場調査を実施して、市場の現状やニーズを把握する。</p> <p>1-3. 民芸品店から民芸品市場の情報を入手し、既存の情報を更新する。</p> <p>1-4. プロジェクト対象地域の現状や女性グループのニーズ調査を実施する。</p> <p>1-5. 追加調査を実施し、情報を更新する。</p> <p>1-6. 民芸品の生産に必要な材料の情報を収集・整理する。</p> <p>2-1. 生産支援に係る研修経済開発部(対象3支部を含む)の機能と責任範囲を明確にする。</p> <p>2-2. 現状に適した生産支援に係る研修経済開発部内戦略を策定する。</p> <p>2-3. 生産支援に係る計画の立案、モニタリング、評価の手法を習得する。</p> <p>2-4. 生産支援に係る計画の実施管理(モニタリング)を行う。</p> <p>2-5. 実施した活動の結果を用いて、支援プログラムの業務マニュアルを作成する。</p> <p>3-1. 支援スキームを持つ組織との会議の開催などを通して情報を共有する。</p> <p>3-2. 民芸品製作者と協力者/民芸品販売店とのマッチングなどのイベントを実施する。</p> <p>4-1. 対象地域において、支援対象となる女性グループを発掘し選定する。</p> <p>4-2. 他の組織が持つ女性や女性グループの活動を支援するスキームの活用ガイドラインを作成する。</p> <p>4-3. 講師の所在を確認し、支援の実施に活用する。</p> <p>4-4. 既存の民芸品とその作成技術を評価し、民芸品の改善と新製品の開発を行う(デザイン改善、生産プロセス改善を含む)。</p> <p>4-5. 民芸品の生産管理の指導を行い、生産された商品の販売促進を支援する(イベントやウェブページの開設を含む)。</p> <p>4-6. 民芸品を製作する対象女性グループに対して、組織の形成と機能強化の指導を行う。</p> <p>4-7. 実施した活動の結果を用いて、研修ガイドを作成する。</p> <p>5-1. プロジェクト実施に必要な情報を整理し、情報管理の仕組みを作る。</p> <p>5-2. 情報共有を目的に、データを情報の仕組みに更新する。</p> <p>5-3. 情報の収集・共有について協議・合意するために、情報部との連携を構築する。</p> | <p>メキシコ国側</p> <p>1. C/P 人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト・ディレクター プロジェクト・マネージャー プロジェクト関連 IQM 職員 管理スタッフ(秘書、運転手、その他の支援スタッフ) <p>2. 建物他プロジェクト実施に必要な資機材</p> <p>3. オフィススペース他日本人専門家・会合に必要な資機材</p> <p>4. 電気、ガス、水道</p> <p>5. その他双方合意のもと必要と判断される資機材</p> <p>6. 日本側からの供与機材にかかる付加価値税</p> <p>7. プロジェクト実施に関するローカルコストの一部負担</p> | <p>投入</p> <p>日本側</p> <p>1. 専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> チーフアドバイザー その他プロジェクト目標達成に必要な短期専門家 <p>2. プロジェクト実施に関する運営コストの一部負担</p> <p>3. 資機材供与</p> <p>4. 業務に必要なその他の資機材</p> | <p>・地域に決定的なダメージを引き起こす災害(洪水、旱魃、ハリケーンなど)が起こらない</p> <p>・女性対象の支援スキームの規模や数が現状以下にならない。</p> | <p>前提条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性庁がなくなるならない。 ・政府の女性支援政策が継続して施行される。 |
|---|---|---|--|--|

| 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 3. 図解・連携関係の強化: 支援プログラムの発表を目的に、女性 研修者経済開発部と主要関係組織との調整及び連携が構築され る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3-1. 支援スキームを持つ組織と連携の開催などを進めて情報 の共有する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3-2. 民営品作成者/協力者/民営品販売店とのマッチングなど のイベントを実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3-3. 民営品作成者/協力者/民営品販売店とのマッチングなど のイベントを実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 支援プログラムの構築: 女性行商研修者経済開発部と関係支所によ る対象女性グループへの支援プロジェクトを通して、民営品生産 のための研修ガイドが作成される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-1. 対象地域において、支援対象となる女性グループを特定し て選定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-2. 他の組織を持つ女性や女性グループの活動を支援するス キームの活用がドライブを作成する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-3. 講師の所在を把握し、支援の発掘に活用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-4. 販子/民営品とその作成技術を詳細に、民営品の改善と 新製品の開発を行う(デザイン改善、生産プロセス改善を含む)。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-5. 民営品の生産管理の指導を行い、生産された商品の販売 促進を支援する(イベントやウェブページの開設を含む)。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-6. 民営品を制作する対象女性グループに対して、組織の形 成と機能強化の指導を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-7. 実施した活動の結果を用いて、研修ガイドを作成する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 情報管理能力の強化: 支援業務に関する情報の適切な管理と 活用が行われる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5-1. プロジェクト/支援上必要な情報を整理し、情報管理の仕組 みを作る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5-2. 情報共有を目的に、データを情報の仕組みに更新する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5-3. 情報の収集・共有について協議・合意するために、情報部 との連携を構築する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

..... 断片的な活動(計画)
 ■■■■■ 集中的な活動(計画)
 断片的な活動(実績)
 ■■■■■ 集中的な活動(実績)

添付資料3 評価スケジュール

| 日付 | 米崎総務 | 職員・協力企画 | 現地メンバー・ジェンダー | ラケル・JICAメキシコ事務所 | 田中団員・評価分析 | 宿泊先 |
|------------|------------|--|----------------------------------|---|--|---------------------------|
| 1 10/7 水 | | | | | 成田発→メキシコシティ着 | メキシコシティ |
| 2 10/8 木 | 事務所打合せ | | | チエトマルへ移動 | 事務所打合せ チエトマルへ移動 | チエトマル |
| 3 10/9 金 | | | | カウンターパート(女性行)訪問 ホセ・マリア・モレロス(似) 後JMモレロスへ移動 | カウンターパート(女性行)訪問、女性庁庁舎研修経済開発課及び 債権部、総務課、経営者センター、ロー州支所へのインタビュー JMモレロスへ移動 | JMモレロス |
| 4 10/10 土 | | | | JMモレロス訪問 ラサロ・カルデナス市に移 動後、カンクンより、DFへ 移動 | JMモレロス支所訪問、女性グループ視察・インタビュー(アドルフ・ ロペス、マテオス村・プレシミダ村) ラサロ・カルデナス市に移動、途中、ヌエボ・トカランコ村視察・インタ ビュー、カントニルケンへ移動 | カントニルケン |
| 5 10/11 日 | | | | | ラサロ・カルデナス支所訪問一 女性グループ視察・インタビュー(サンタ・ルイス・コル・アグアスー ル村)、取引先医薬品店(ホテル・ロマ視察)、プラヤデルカルメン へ移動 | プラヤデルカルメン |
| 6 10/12 月 | | | | | チエトマルへ移動 書類整理・評価報告書作成 | チエトマル |
| 7 10/13 火 | | | | | カウンターパート長官邸、CP精足インタビュー、キンタナ・ロー州 村落地域先住民開発局インタビュー | チエトマル |
| 8 10/14 水 | | | 成田発→メキシコシティ着 | | CP精足インタビュー キンタナ・ロー州経済開発局、国連先住民開発委員会インタビュー、 書類整理・評価報告書作成 | 詳細分析:チエトマル 菅団員:メキシコシティ |
| 10 10/15 木 | JICA事務所打合せ | JICA事務所打合せ メキシコシティ・カン クンへ移動、バ ジャドリッドへ移動 | 成田発→メキシコシティ着 | | 書類整理・評価報告書作成 バジャドリッドへ移動、JMモレロス支所長インタビュー | バジャドリッド |
| 11 10/16 金 | | 販売促進研修の視察一 JMモレロス女性グループ 視察 | 販売促進研修の視察一 JMモレロス女性グループ 視察 | | 販売促進研修の視察 JMモレロス女性グループ視察・インタビュー(サカラガ村・サンフエリ ベオリエンテ村)、JMモレロスへ移動 | JMモレロス |
| 12 10/17 土 | | JMモレロス女性グループ 視察 チエトマルへ移動 | JMモレロス女性グループ 視察 チエトマルへ移動 | | JMモレロス支所職員と各議、 JMモレロス女性グループ視察・インタビュー(アドルフ・ロペス、マテ オス村) チエトマルへ移動 書類整理・評価報告書作成 | チエトマル |
| 12 10/18 日 | | 団内ミーティング | 団内ミーティング | | 書類整理・評価報告書作成、団内ミーティング | チエトマル |

| 月 | メキシコシティチームメール | 評価報告書送信・作成 | 評価報告書送信・作成 | メキシコシティチームメール | 評価報告書送信・作成 | チャットメール |
|----------|---------------|--------------------------------------|-----------------------|---------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 13 10/19 | | | | | | |
| 14 10/20 | 火 | 評価報告書、MM案作成・修正 | | | | チャットメール |
| 15 10/21 | 水 | 合同調整委員会開催 (MM署名)、チャットメールカンクン(医薬品店探察) | | | 合同調整委員会開催 (MM署名) 評価報告書作成 | 評価報告書送信・チャットメール 菅田員・カンクン |
| 16 10/22 | 木 | カンクン→メキシコシティへ JICA報告、大使館報告 | | | チャットメール→メキシコシティへ JICA報告、大使館報告 | メキシコシティ |
| 17 10/23 | 金 | | メキシコシティ宛一成田着 ※24日着 | | メキシコシティ宛一成田着 ※24日着 | |

添付資料4 評価グリッド：メキシコ国キンタナロー州マヤ族居住地域女性支援計画

| 評価項目 | 評価設問 | | 必要とするデータ・情報源 | |
|--|--|---|---|---|
| | 大項目 | 小項目 | | |
| 1. プロジェクトの実績 | アウトプットの産出度 | アウトプット1. 調査機能の強化:現状の把握や活動を実施するために必要な情報が収集・整理される。 | 1-1. キンタナロー州の民芸品市場の現状調査が実施され情報が報告書にまとめられ、更新されている。 | 専門家、CPへのインタビュー、プロジェクトの報告書、民芸品市場調査報告書、対象地域(3市)の農村簡易調査報告書 |
| | | | 1-2. プロジェクト対象地域の村落の現状調査が実施され情報が報告書にまとめられ、更新されている。 | |
| | | | 1-3. プロジェクト対象地域で実施された調査情報が、支援プロジェクト形成時に何らかの形で活用されている。 | |
| | | | 上記指標の他にアウトプット1の活動による成果はあるか? | |
| | | アウトプット2. 運営管理機能の強化:支援プログラムの業務マニュアルを作成することで、女性研修経済開発部の運営管理能力が改善される。 | 2-1. 研修経済開発部の業務手順マニュアルが作成されている。 | 専門家、CPへのインタビュー、プロジェクトの報告書、業務手順マニュアル |
| | | | 2-2. 支援プログラムの業務マニュアルが作成されている。 | |
| | | | 上記指標の他にアウトプット2の活動による成果はあるか? | |
| | | アウトプット3. 調整・連携機能の強化:支援プログラムの実施を目的に、女性研修経済開発部と関係組織との調整及び連携が構築される。 | 3-1. 支援スキーム活用ガイド(相談窓口、パンフなど)案が作成されている。 | 専門家、CPへのインタビュー、プロジェクトの報告書、作成された活用ガイド(案) |
| | | | 3-2. 民芸品を作成する女性グループが受けられる支援スキームを持つ関係機関と会議が開催されている。 | |
| | | | 3-3. 民芸品製作者と協力者/民芸品販売店とのマッチングの機会(品評会や商品紹介イベントなど)が年に2回以上実施される。 | |
| | | | 上記指標の他にアウトプット3の活動による成果はあるか? | |
| | | アウトプット4. 支援プログラムの構築:女性研修経済開発部と関係支所による対象女性グループへの実証プロジェクトを通して、民芸品生産のための研修ガイドが作成される。 | 4-1. 改善・開発された民芸品の種類が増加する。 | 専門家、CPへのインタビュー、プロジェクトの報告書、品評会の結果、販売記録 |
| | 4-2. 改善・開発された民芸品の品質の評価が向上する。 | | | |
| | 4-3. 改善・開発された民芸品の販売が増える。 | | | |
| | 4-4. プロジェクトの支援を受けた女性グループの能力が向上する(意識、知識面等)。 | | | |
| | 4-5. 民芸品生産のための研修ガイドが作成されている。 | | | |
| | 上記指標の他にアウトプット4の活動による成果はあるか? | | 質問票、関係者のインタビュー | |
| | アウトプット5. 情報管理能力の強化:支援業務に関する情報の適切な管理と活用が行われる。 | 5-1. プロジェクト情報管理の仕組みができています。 | 専門家、CPへのインタビュー、プロジェクトの報告書、情報システムの更新記録、情報の活用に関する記録 | |
| | | 5-2. CP職員が情報システムで有益な情報を更新している。 | | |
| | | 5-3. CP職員が情報にアクセスできる状態にある。 | | |
| 5-4. プロジェクトで活用された情報システムが、女性庁の情報システムの中に導入されている。 | | | | |
| 上記指標の他にアウトプット5の活動による成果はあるか? | | 質問票、関係者のインタビュー | | |
| 活動の実績 | 活動の進捗状況 | プロジェクト進捗状況は全体的に良好といえるか? | プロジェクトの報告書、関係者のインタビュー | |
| | 活動にあたっての問題点 | 進捗に影響を与えている問題はあるか? | 関係者のインタビュー | |
| | 問題発現時にとられた対策 | その問題を解決するためにどのような手段をとっているか? | | |
| | | メキシコ側 | プロジェクトの報告書、質問票 | |
| | | * CPは計画どおりに配置されているか? | | |
| | | * 経費と資材が計画どおりに投入されているか? | | |
| | | * 執務室等の施設は計画どおりに提供されているか? | | |

| 評価項目 | 評価設問 | | 必要とするデータ・情報源 | |
|--|---|---|---|---------------------------|
| | 大項目 | 小項目 | | |
| 投入の実績 | 投入の実績 | 日本側 | プロジェクトの報告書、質問票 | |
| | | * 専門家は計画どおりに派遣されているか？ | | |
| | | * 研修員は計画どおりに受け入れられているか？ | | |
| | | * 機材は計画どおりに供与されているか？ | | |
| | | * ローカルコストは計画どおりに負担されているか？ | | |
| 2. プロジェクトの実施プロセス | プロジェクトのマネジメント体制 | プロジェクト実施体制 | プロジェクトの実施体制は適切に機能しているか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | モニタリングの実施 | プロジェクト全体のモニタリングはどのように実施されているか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | | PDM・POは適宜修正されているか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | | PDMはどのように活用されているか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | 技術移転の方法 | 専門家とカウンターパートとの関係 | 専門家の技術移転の方法、コミュニケーションのとり方、その状況はどうか？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| | カウンターパートのプロジェクトに対する認識度 | CP機関 (IMQ、当該支所) のオーナーシップ | CPは意思決定プロセスにどの程度関与しているか？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| | | | CPはプロジェクトの活動に積極的に関与しているか？ | |
| | | | CPの意識の変化は見られるか？ | |
| | その他ステークホルダー/ターゲットグループのプロジェクトへの参加度およびプロジェクトに対する認識度 | ステークホルダー/ターゲットグループの事業への関わり方はどうか？ | ターゲットグループ (女性庁) は活動にどのように関与しているか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | | 関連機関 (その他関連協力機関) との調整・協力は適切に行われているか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| 民芸品生産者 (民芸品に関わる業者、女性グループ、女性、男性を含む) は活動にどのように関与しているか？ | | | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー | |
| 3. 妥当性 | プロジェクトを実施する必要性 | 対象地域・社会のニーズとの整合性 | キンタナロー州の地域・社会のニーズに合致しているか？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| | | ターゲットグループのニーズに合致しているか？ | 質問票、関係者のインタビュー | |
| | 優先度 | 相手国の開発政策との整合性 | キンタナロー州政府の開発政策と合致しているか？ | 開発計画政策資料 |
| | | | 日本の開発援助政策との整合性 | 日本対メキシコODA政策の中で優先度は高いか？ |
| | 手段としての適切性 | プロジェクト目標・アウトプットの選択の選定の適正度 | 適切なプロセスを経て計画されたか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | | 対象地域の貧困対策と女性支援の戦略として適切にデザインされていたか？ | |
| | | | 対象地域、ターゲットグループの選定は適切か？ | |
| 日本が協力する比較優位はあるか？ 比較優位がある場合、それは主にどの分野か？ | | | | |
| 4. 有効性 | プロジェクト目標の達成度 | プロジェクト目標 (女性庁・研修経済開発部による女性グループへの民芸品改善・開発支援プログラムが確立される。) の達成度合 | 支援プログラムが作成されている。 | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | | 対象コミュニティで実施した活動を通して、民芸品生産のための研修ガイドが作成されている。 | |
| | | | 支援プログラム実施のための業務マニュアルが作成されている。 | |
| | プロジェクト目標達成の促進要因 | プロジェクト目標達成の促進要因は何か？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー | |
| | | プロジェクト目標の達成を阻害する要因の有無 | 阻害要因は何か？ どのような対処方法が取られているか？ | |
| アウトプットとプロジェクト目標との因果関係 | アウトプットの充足度 | プロジェクト目標を達成するために適切なアウトプットが設定されているか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー | |
| | | アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件の充足度 | プロジェクト目標達成のための外部条件は充足されていたか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |

| 評価項目 | 評価設問 | | 必要とするデータ・情報源 | |
|-------------------------------|---------------------|--|--|----------------------------------|
| | 大項目 | 小項目 | | |
| 5. 効率性 | アウトプットの産出の要因 | アウトプット達成の促進要因 | アウトプット達成の促進要因は何か？ | プロジェクトの記録、質問票、関係者のインタビュー |
| | | アウトプット達成を阻害する要因の有無 | 阻害要因は何か？どのような対処方法が取られているか？ | |
| | 投入および活動とアウトプットの因果関係 | 活動の適正度 | 活動は、各アウトプットを産出するために充分であったか？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| | | 投入の適正度 | アウトプットを産出するために適切な投入がなされたか？ | |
| | | アウトプット達成に至るまでの外部条件 | アウトプット達成のための外部条件は充足されていたか？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| | 投入のタイミング・質・量 | 投入の適正度 | 専門家の人数、タイミング、分野は適正か？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | | 供与機材の種類、機種、数、タイミングは適正といえるか？ | |
| | | | 研修員の受入れタイミング、人数、研修内容は適正と言えるか？ | |
| | | | プロジェクト運営費の量とタイミングは適正といえるか？ | |
| | | | 活用されていない投入はあるか？ | |
| 配置されたCPの人数、タイミング、分野は適正と言えるか？ | | | | |
| 提供された施設設備の規模、タイミング、質は適正といえるか？ | | | | |
| 6. インパクト | 上位目標達成の予測 | 支援によって得られた女性の収入が増加する。 | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー | |
| | | 上位目標(民芸品改善・開発支援プログラムを活用して支援を受けた女性グループの収入が向上する。)がプロジェクト終了後3~5年で達成できる見込み | | 支援プログラムを活用して改善・開発された民芸品の種類が増加する。 |
| | | | | 支援プログラムが適用された女性グループの数が増加する。 |
| | | | | 高級ブティック・民芸品店に納品された民芸品の数が増加する。 |
| | | 上位目標の達成を阻害する要因の有無 | 社会経済的要因、社会文化的要因などの状況は変化していないか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | 因果関係 | プロジェクトのロジックの適正度 | 上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか？(上位目標は、プロジェクト終了3~5年後に達成できるか？) | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件の充足度 | 上位目標達成のための外部条件は充足される見込みか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | 予期せぬインパクト | 想定外のプラスの影響の有無 | 政策、法律・制度への影響、人権への影響、貧富の差など社会・文化的側面への影響、意識・技術面での変革、対象社会への経済的影響があるか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | 想定外のマイナスの影響の有無 | 政策、法律・制度への影響、人権への影響、貧富の差など社会・文化的側面への影響、意識・技術面での変革、対象社会への経済的影響などがあるか？ | プロジェクトの報告書、質問票、関係者のインタビュー |
| | | | 負の影響が生じている場合、何か対策がとられているか？ | |
| 7. 自立発展性 | 政策・制度面 | 政策的支援は協力終了後も継続するか。 | 女性の支援に関する政策は、協力終了後も継続しうか？ 関連規制、法制度は整備されているか、される予定か？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| | 組織面 | 協力終了後のCP機関の組織能力 | 担当事業に関するCP機関の実施能力や調整能力は向上しているか？ 対象女性グループの活動実施能力や調整能力は向上しているか？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| | 財政面 | CP機関の経常予算の安定度 | CP機関の年間計画および予算の執行状況はプロジェクトの効果を維持するに十分か？ | 質問票、関係者のインタビュー |

| 評価項目 | 評価設問 | | 必要とするデータ・情報源 |
|--|----------------------|---|----------------|
| | 大項目 | 小項目 | |
| 技術面 | 移転した技術の定着と普及の可能性 | CPIは定着しているか？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| | | 移転した技術・ノウハウは活用されているか？ | |
| | | 施設・機材は維持管理されているか？ | |
| | 効果を持続させるための促進要因と阻害要因 | プロジェクトで実施支援した各種活動はキンタナロー州関係機関により持続可能か？ | 質問票、関係者のインタビュー |
| プロジェクトで得られた効果が引き続き発現してゆくために必要な要因は何か？(社会的・文化的要因を含む) | | | |
| | | プロジェクトで得られた効果が引き続き発現してゆく際に阻害要因となるものは何か？(社会的・文化的要因を含む) | |

添付資料 5 プロジェクト投入実績

5-1 カウンターパート (C/P) 配置実績

| C/P の氏名 及び役職 | C/P の 専門分野 | 配置期間 | 技術移転を行っ た専門家氏名 | 実施機関での 勤務期間 | 備考等 (職歴など) |
|------------------------------------|---|-----------------|--------------------------|----------------|--|
| 女性庁本庁 経済社会開発部 (旧研修・生産強化部) | | | | | |
| Augusto César Salgado Sangri | 本庁経済社会開発部部長 | 07年3月～ 現在 | 和田 泰志 伊藤 拓次郎 渡辺 知子 | 勤務年数 12年 | タバスコ州政府機材賃貸部助手、タバスコ州馬再生産センター担当、民間企業、女性庁技術部長。 |
| Daniela Ix Benitez | 生産強化部門/チーフ | 07年3月～ 現在 | 朝倉 麻耶 渡辺 知子 | 勤務年数 2年 半 | 生産プロジェクトコンサルタント、民間村落連合組織 |
| Evangelina Sosa Briceño | 研修部門/チーフ | 07年3月～ 現在 | 朝倉 麻耶 渡辺 知子 | 勤務年数 9年 | ホテル、オトン・ペ・ブランコ市支所勤務。 |
| Yarime Martinez | 研修部門/アシスタント | 07年3月～ 08年2月 | 渡辺 知子 | 勤務年数 2年 | IQM 計画・モニタリング・評価部に異動。 |
| Oscar Ruiz Hernández | 研修部門/アシスタント | 07年6月～ 08年3月 | キャンディス・クルメル 渡辺知子 | | 離職。 |
| Vanessa Rodriguez Morales | 生産強化部門/チーフ | 08年7月～ 現在 | キャンディス・クルメル | 勤務年数 9年 | GETMAR, CONALEP、IQM アドミ部署。 |
| Gabriela Campos Villaseñor | 研修部門/専門職 (Profesionista Tecnico Operario) | 08年7月～ 現在 | 渡辺 知子 | 勤務年数 6年 | 州財務局、個人店舗、IQM 本庁、オトン・ペ・ブランコ市支所。 |
| Lucely Guadalupe Rodriguez Gomez | 研修部門/専門職 (Profesionista Tecnico Operario) | 08年8月～ 09年1月 | | 勤務年数 8年 | 現在、IQM 総務部に異動。 |
| Grethel E. Cárdenas Palomo | PRODEMAYA 担当 | 07年3月～ 現在 | 渡辺 知子 戸田 めぐみ | 勤務年数 3年 | 新聞社 (La Cronica、Quequi)、建設グループ MEGADUR、ITCH。 |
| Maricela del Carmen Caamal Huchín | 生産強化部門/アシスタント | 07年3月～ 現在 | 戸田 めぐみ 渡辺 知子 | 勤務年数 2年 | 軍駐在地、CONALEP、INEA、法律事務所、靴屋、スーパー (アドミ部署)。 |
| Debbie Osiris Delgado Villamonte | アドミ・アシスタント | 08年7月～ 09年1月 | | 勤務年数 5年 | IQM 情報部に異動。 |
| Asunción Roquelda Aragón Lorenzana | 研修・研修生産強化部門/アシスタント、インストラクター | 07年3月～ 現在 | | 勤務年数 11年 | |
| Mirna Flores Cubas | アドミニストレーター | 08年8月～ 現在 | | 勤務年数 10年 間 | IQM 法務部。 |
| Gabriel Cuevas Golpes | 運転手 | 07年3月～ 現在 | 渡辺 知子 | 勤務年数 1年 半 | |

| 女性庁 ラサロ・カルデナス支所 | | | | | |
|-----------------------------------|-----------|----------------------|--------------------------------|---------|-------------------------------|
| Yrene Pat Chim | 支所長(旧支所長) | 07年3月～ 07年12月 | 渡辺 知子 | | 離職。 |
| Trinidad Ancona Chi | 支所長(現支所長) | 07年12月～ 現在 | | 勤務年数2年 | 支所長就任前は SEDARI ラサロ支所に勤務。 |
| Pablo Gen Pool | 生産強化担当 | 07年3月～ 現在 | 渡辺 知子 | 勤務年数11年 | 民間企業スーパーバイザー。 |
| Maria Celestina Koyoc Pech | 研修担当 | 07年3月～ 現在 | 渡辺 知子 | | 08年初めまでは支所内の 教育・保健担当者だった。 |
| 女性庁 ホセ・マリア・モレロス支所 | | | | | |
| Leidy Noemi Blanco | 支所長(旧支所長) | 07年3月～ 11月あるいは12月 | 渡辺 知子 | | 離職。 |
| Yesenia Ortiz Estrella | 支所長(現支所長) | 08年5月～ 現在 | 渡辺 知子 キャンディス・クルメル 戸田 めぐみ | | ホセ・マリア・モレロス市 議(2005-2007)。 |
| Julio Cesar Carrillo Hernandez | 研修・生産強化担当 | 07年3月～ 09年3月 | 渡辺 知子 | | 離職。 |
| Lucy Maribel Blanco Angulo | 教育・保健担当 | 07年3月～ 現在 | | | |
| Maria de Jesus Anguas Cauich | アシスタント | 07年3月～ 現在 | 渡辺 知子 | | |
| David Arreola Pacheco | 研修・生産強化担当 | 09年4月～ 現在 | | | |
| Amira Sierra Cauich | 用務員 | 07年3月～ 現在 | 渡辺 知子 | | |
| 女性庁 フェリペ・カリジョ・プエルト支所 | | | | | |
| María Teresa Cruz Quintal | 支所長(旧支所長) | 07年3月～ 11月あるいは12月 | 渡辺 知子 | | 2007年まで支所長。 |
| Marbella Suarez Aguilar | 支所長(現支所長) | 08年1月～ 現在 | | | |
| Rosa Beatriz Concha Puga | 研修担当 | 07年3月～ 現在 | 渡辺 知子 | | |
| Jorge Armin Santos Rivas | 生産強化担当 | 07年3月～ 現在 | 渡辺 知子 | | |

5-2 専門家派遣実績 (09年9月1日現在)

| 専門家氏名 | 指導科目 | 派遣期間 |
|--------------------|-----------|---|
| 和田 泰志 | 総括/組織強化1 | <ul style="list-style-type: none"> ・07年3月12日～19日 ・07年7月2日～8月1日 ・07年10月4日～11月3日 ・08年2月15日～3月15日 ・08年5月12日～6月14日 ・08年8月4日～9月28日 ・08年11月24日～28日 ・08年12月8日～13日 ・09年1月5日～2月7日 ・09年6月11日～7月10日 ・09年7月30日～8月28日 |
| 朝倉 麻耶 | 組織強化2 | <ul style="list-style-type: none"> ・07年6月15日～12月26日 ・08年1月16日～3月15日 ・08年5月18日～7月31日 ・08年10月1日～12月10日 ・09年2月3日～3月15日 |
| 鈴木 憲明 | 組織強化2 | <ul style="list-style-type: none"> ・09年7月27日～8月25日 |
| キャンディス・E. クルーメル | 民芸品開発・改善1 | <ul style="list-style-type: none"> ・07年3月12日～18日 ・07年7月2日～10月14日 ・07年11月23日～12月22日 ・08年2月1日～3月16日 ・08年5月15日～7月13日 ・08年9月12日～11月10日 ・09年1月10日～3月10日 ・09年6月12日～8月10日 |
| 伊藤 拓次郎 | 民芸品開発・改善2 | <ul style="list-style-type: none"> ・07年11月27日～12月22日 ・08年2月11日～3月15日 ・08年5月26日～6月28日 ・08年10月1日～10月26日 ・09年7月2日～8月8日 |
| 神谷 マルコ | 市場調査 | <ul style="list-style-type: none"> ・07年6月25日～8月28日 ・07年10月14日～11月27日 ・08年2月3日～3月18日 |
| 渡辺 知子 | 調査手法/女性組織 | <ul style="list-style-type: none"> ・07年6月6日～7月5日 ・07年8月8日～10月6日 ・07年11月11日～12月10日 ・08年3月1日～15日 ・08年6月23日～8月6日 ・08年10月13日～11月26日 ・09年7月23日～現在 |
| 戸田 めぐみ | 市場調査/市場開拓 | <ul style="list-style-type: none"> ・08年5月17日～8月31日 ・08年9月1日～10月30日 ・09年2月4日～3月15日 ・09年7月16日～8月14日 |
| 戸田 めぐみ | 業務調整 | <ul style="list-style-type: none"> ・07年6月19日～8月15日 ・07年10月23日～08年3月9日 |
| 大垣 菜都子 | 業務調整 | <ul style="list-style-type: none"> ・08年9月1日～12月14日 ・09年1月5日～3月10日 |

| | | |
|-------|------|-----------------|
| | | ・09年6月11日～7月30日 |
| 徳末 明子 | 業務調整 | ・09年7月16日～現在 |

5-3 カウンターパート研修実績（第三国）

| 研修員氏名 | 受入期間 | 協力分野名 | 研修内容及び受入機関 | 当時の役職 | 現在の役職及び離職年月、離職先 |
|--------------------------------|---------------|---------|--|--------------------------------------|-----------------|
| Augusto Cesar Salgado Sangri | 07年8月11日から15日 | 民芸品市場 | 民芸品市場研修 (Market Readiness Program) Aid to Artisans | 生産強化部長 | 同左（現社会開発部長） |
| Maria Hadad Castillo | 同上 | 同上 | 同上 | 女性庁長官 | 07年12月離職 |
| Maria Ady Pech Poot | 08年6月9日から13日 | 木製民芸品作成 | ルスティック家具・木工製品作成 Instituto Omega | ラサロ・カルデナス市 ヌエボ・ドウランゴ、 グループメンバー | 同左 |
| Mirley Vianely Gonzalez Valdez | 同上 | 同上 | 同上 | ラサロ・カルデナス市 ヌエボ・ドウランゴ、 グループ代表 | 同左 |

5-4 現地開催研修実績

| コース名 (研修内容) | 開催日 | 期間 | 参加人数 | 対象者 | 備考 |
|-------------------|--------------------------------|------|----------------------------|---|---|
| 農村迅速調査手法(RRA) (1) | 07年6月11日 -13日 | 3日間 | 21人 | 本庁研修・生産強化部、教育・保健部、計画・継続・評価部職員計12人、プロジェクト対象3市の支所から職員3人ずつ計9人。 | 女性庁本部生産強化・研修部、教育・保健部、計画・継続・評価部、フェリッペ・カリージョ・プエルト支所、ホセ・マリア・モレロス支所、ラサロ・カルデナス支所の職員を対象に、参加型の概念とRRA手法を中心とする参加型調査手法を身につけるための講義・演習を行った。 |
| 農村迅速調査手法(RRA) (2) | 2007年 6月-9月 | 各5日間 | 28人 | プロジェクト対象3市の支所職員のべ28人。 | 講義・演習で身に付けた参加型手法を応用し、調査能力を向上させるため4日~5日間の調査を計6村で実施した。 |
| PCM研修(計画立案) | 07年7月9日~ 11日 | 3日間 | 14人 | 本庁研修・生産強化部職員5人、プロジェクト対象3市の支所職員各3人。 | 女性庁本部職員、プロジェクト対象3市の女性庁支所職員がプロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)手法を習得し、団員とカウンターパートがPDMを使ってプロジェクトを共同運営できるようになることを主な目的に、計画立案に関する研修(理論、演習)を実施した。 |
| 市場調査手法概論 | 1回目:07年7月11日、 2回目:07年11月21日 | 2日間 | 1回目: 14人、 2回目: 8人 | 女性庁職員。 1回目:研修・生産強化部職員5人、プロジェクト対象3市の支所職員各3人。 2回目:研修・生産強化部職員8人。 | 女性庁本部の生産強化・研修部職員及び、プロジェクト対象3市の支所職員を対象に、市場調査を行うための手法について演習を行った。 |
| 民芸品スタディツアー | 07年12月16日~20日 | 5日間 | 8人 | ラサロ・カルデナス市女性グループ代表者6人、女性庁本庁研修・生産強化部職員1人、ラサロ・カルデナス市支所職員1人。 | |

| | | | | | |
|--|--------------------|-----------|------|--|---|
| 商品作成にかかるコストの算出方法ワークショップ | 08年2月19日 | 1日間 | 9人 | 女性グループメンバー9人 | 民芸品作成にかかるコストの算出方法を説明し、演習を行った。 |
| 情報管理システム (Base Camp) 使い方講座 (女性庁本庁 CP 対象) | 08年6月、7月 | 各1日間 | 14人 | 女性庁本庁生産強化・研修部職員、ラサロ・カルデナス支所、ホセ・マリア・モレロス支所職員 | IQMの職員を対象に、情報の共有と活用を目的に導入した情報システム (Base Camp) の使い方について研修を行った。 |
| 先進女性民芸品製造者グループ視察 (Fomento Cultural Banamex 支援グループ) | 08年7月10日、17日 | 各1日間 | 35人 | ラサロ・カルデナス市の5グループから3人ずつ (計15人)、同市支所職員1人、本庁職員1人。ホセ・マリア・モレロス市の5グループから3人ずつ (計15人)、同市支所長、ボラティア勤務のスタッフ1人、本庁職員1人。 | 各グループの代表者を対象とし、将来の組織像と組織に関する知識を持ってもらうことを目指し、グループが実際に活動している様子を観察するとともに女性たちの声を直接聞いた。またそれによって動機付けを行った。 |
| 活動計画策定ワークショップ | 08年7月14日 | 半日間 | 4人 | ホセ・マリア・モレロス支所職員4名。 | 職員の業務効率化向上のために、活動計画策定と、職員間の業務調整の大切さを説明し、月間活動計画を作成した。 |
| 女性グループの組織強化研修(1) | 08年7月22-24日、29-31日 | 1日間 (10回) | 130人 | 本庁研修・生産強化部職員1人、ラサロ・カルデナス市女性グループメンバー (計55人)、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループメンバー (計74人)。 | 先進女性グループから観察したことをグループ代表者が発表し、メンバー間で共有するとともにリーダーシップの形成を促した。また、グループの長期、短期目標や規約を作成した。 |
| 女性グループの組織強化研修(2) | 08年9月10-12日、17-19日 | 1日間 (11回) | 138人 | 本庁研修・生産強化部職員1人、ラサロ・カルデナス市女性グループメンバー (計55人)、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループメンバー (計82人)。 | 本庁研修・生産強化部職員(1名)が主導し、グループメンバーと執行部の役割分担の明確化と7月に設定した短期目標の達成度を確認し、新たな活動計画を立てた。 |
| 女性グループ代表者対象販売促進研修 | 08年10月11日、15日 | 2日間 | 9人 | ラサロ・カルデナス、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループ代表者 (計9名)。 | グループ代表者を対象に販売促進の方法に関する研修を行った。 |

| | | | | | |
|---------------------------|------------------|-----|-----|---|--|
| 村落調査報告書作成研修 | 08年10月30日 | 1日間 | 6名 | 女性庁本庁生産強化・研修部職員6名 | 女性庁本庁生産強化・研修部の職員を対象に、村落調査の報告書の作成手法に関する研修を行った。 |
| 女性グループ代表者対象生産管理研修(1) | 08年11月3-4日 | 2日間 | 11人 | 本庁研修・生産強化部職員1人、ホセ・マリア・モレロス市支所職員1人、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループ代表者(計9名)。 | グループ代表者を対象に生産コスト計算の方法とプロセスについて研修を行った。 |
| 女性グループ代表者対象生産管理研修(2) | 08年11月10-11日 | 2日間 | 12人 | 本庁研修・生産強化部職員1人、ホセ・マリア・モレロス市支所職員2人、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループ代表者(計9名)。 | グループ代表者を対象に価格設定の方法とプロセスについて研修を行った。 |
| 女性グループ対象精算管理研修 | 08年11月20-21日 | 2日間 | 83人 | ホセ・マリア・モレロス市支所職員1人、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループメンバー(計82人)。 | 支所職員が主導し、各グループのメンバーに生産コスト計算と価格設定の方法とプロセスについて研修を行った。 |
| 民芸品スタディツアー | 09年2月19日~21日 | 3日間 | 6人 | ホセ・マリア・モレロス市女性グループ代表者5人、女性庁ホセ・マリア・モレロス市支所職員1人。 | |
| PCM手法(モニタリング・評価) | 09年7月7日 | 1日間 | 15人 | テクニカル・コミッティのメンバー15名。 | テクニカル・コミッティのメンバーを対象に、プロジェクトの成果や進捗状況の情報共有を円滑にするため、PCM手法によるモニタリングと評価の手法について研修を行った。 |
| 女性グループ代表者対象組織強化ワークショップ(1) | 09年7月28日、09年8月1日 | 各1日 | 27人 | 本庁研修・生産強化部職員2人、ホセ・マリア・モレロス市支所職員1人、ラサロ・カルデナス市女性グループメンバー(12人)、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループメンバー(12人)。 | 各グループの代表者を対象に、組合形成の目的と方法、形成のメリットとデメリットについての話し合いと説明を行った。 |

| | | | | | |
|---------------------------|-----------------------|-----|-----|--|--|
| 女性グループ代表者対象組織強化ワークショップ(2) | 09年8月6日、 09年8月7日 | 各1日 | 34人 | 本庁法律担当職員1人、生産強化部職員1人、ホセ・マリア・モレロス市支所職員1人、ラサロ・カルデナス市支所職員1人、ラサロ・カルデナス市女性グループメンバー(14人)、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループメンバー(16人)。 | 各グループの代表者を対象に、組合形成の方法とプロセスについて説明を行った。また、組合名の設定と執行部メンバーの選出を行った。 |
| 女性グループ代表者対象組織強化ワークショップ(3) | 09年8月11日、 09年8月14日 | 各1日 | 26人 | ホセ・マリア・モレロス市支所職員1人、ラサロ・カルデナス市支所職員1人、ラサロ・カルデナス市女性グループメンバー(12人)、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループメンバー(12人)。 | 各グループの代表者を対象に、規約に関する話し合いを行った。また、執行部メンバーの選出を行った。 |
| 女性グループ代表者対象組織強化ワークショップ(4) | 09年8月27日、 09年8月28日 | 各1日 | 26人 | ホセ・マリア・モレロス市支所職員1人、ラサロ・カルデナス市支所職員1人、ラサロ・カルデナス市女性グループメンバー(12人)、ホセ・マリア・モレロス市の女性グループメンバー(12人)。 | 法人格取得のための書類をレビューし、販売のためのフォーマットの説明をした。 |

5-5 日本側機材実績及び利用状況

| 機材番号 | 設置時期 | 機材名 | 型式 | 台数 | 購入価格 (単価) (メキシコペソ) | 設置 場所 | 現在 の稼 働の 有無 | 非稼働の場 合いつから か及びその 理由 |
|------|--------|----------|---------------------------------|----|----------------------------|---------------------|----------------------|-------------------------------|
| 1 | 07年6月 | 会議机 | 76x244 | 1 | 898.99 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 2 | 07年6月 | 事務椅子 | Neumatica | 3 | 1025.65 (341.89/脚) | プロジェクト事務所 | 有 | 品質劣化により1脚破損 |
| 3 | 07年7月 | 事務机 | 120mm x 75mm x 75mm | 1 | 2,257.20 (2,257.20/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 4 | 07年7月 | キャビネット | MP Steel 4 Gebetas | 2 | 4,198.00 (2,099.00/台) | プロジェクト事務所、 IQM支所 | 有 | |
| 5 | 07年7月 | 電話機 | Inalambrica C/Id | 2 | 1,198.00 (599.00/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 6 | 07年7月 | コルクボード | 90x120 | 2 | 1,000 (500.00/枚) | プロジェクト事務所 IQM支所 | 有 | |
| 7 | 07年7月 | 模造紙用三脚 | Triple Tri-M Plata | 2 | 1737.99 (868.99/脚) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 8 | 07年7月 | プリンター | Hp Laser 2605dn | 2 | 9,268.05 (4,634.025/台) | プロジェクト事務所、 IQM支所 | 有 | |
| 9 | 07年8月 | デジタル録音機 | Vanta Vox-70 | 3 | 7,196.99 (2,398.99/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 10 | 07年8月 | コピー機 | Xerox M118-b | 2 | 77,000.00 (38,500.00/台) | プロジェクト事務所、 IQM支所 | 有 | |
| 11 | 07年9月 | ハンマードリル | Romartillos 1/2" VVR | 1 | 1903.00 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 12 | 07年9月 | 電動鋸 | Sierra Caladora VV 0-3100 | 1 | 1936.00 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 13 | 07年10月 | プロジェクター | Sony VPL-CX21 | 1 | 15,299.09 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 14 | 07年10月 | PCソフト | Office 2007 | 2 | 9,597.99 (4,798.995/個) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 15 | 07年10月 | デスクトップPC | HP Pavilion M8050 | 2 | 35,818.20 (17,909.1/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 15 | 07年10月 | スクリーン | 60x60 | 2 | 2797.99 (1,398.995/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 16 | 07年10月 | デジタルカメラ | Canon Powershot S5IS | 2 | 13,011.10 (6,505.55/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 17 | 07年11月 | スキャナー | Hp Scanner Jet G4050 | 2 | 3,782.79 (1,891.395/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 18 | 07年11月 | ビデオカメラ | Sony Handy Cam R62 | 2 | 17,198.00 (8,599.00/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 19 | 07年11月 | 事務椅子 | Neumatica | 3 | 1,221.00 (407.00/脚) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 20 | 07年11月 | ファックス | HP 1050 | 2 | 3,057.05 (1,528.525/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 21 | 07年11月 | 無停電電源装置 | OMNI VS1000 8 Cont | 4 | 10,762.84 (2,690.71/台) | プロジェクト事務所 | 有 | 品質劣化により一台破損 |

| | | | | | | | | |
|----|-----------------|--|--|-----|------------------------------|----------------------------|---|--|
| 22 | 07年11月 | PCソフト | Norton Antivirus | 2 | 999.98 (499.99/個) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 23 | 07年11月 | ホワイトボード | 90x2.40 | 2 | 1835.06 (917.53/台) | プロジェクト事務所 IQM支所 | 有 | |
| 24 | 07年10月 | PCソフト | Adobe Creative、 Microsoft Publisher | 各2 | 47,078.70 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 25 | 07年12月 | カメラ3脚 | Solidex tripie | 1 | 237.21 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 26 | 07年8月 ~08年3月 | 民芸品品質・デザイン改善に係る職業訓練に必要な簡易機材 (小型機材複数： はさみ、ペンチ、電気ドリル、定規、巻尺等) | | 326 | 34,916.80 | プロジェクト事務所 (一部女性グループへ貸出) | 有 | |
| 27 | 08年1月 | 刺繍用ミシン | SINGER Modelo 20U N. U064205198 | 5 | 45,001.00 (9,000.20/台) | プロジェクト事務所 (一部女性グループへ貸出) | 有 | |
| 28 | 08年6月 | ミシン | SINGER Serie N. W1494207 | 1 | 10,500.00 | 女性グループへ貸出 | 有 | |
| 29 | 08年5月 | ハードディスク | 320IDE WD de 3.5 | 2 | 3,094.01 (1547.01/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 30 | 08年6月 | 事務机 | De escuadra | 1 | 1,525.00 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 31 | 08年8月 | キャビネット | 4Gabetas | 1 | 2,089.00 | 女性グループへ貸出中 | 有 | |
| 32 | 08年9月 | 刺繍用ミシン | Brother Overlock Mod. 3034D | 1 | 4,095.00 | 女性グループへ貸出中 | 有 | |
| 33 | 08年9月 | 乾燥用棚 | 50*50/50 charolas RSN1101G | 1 | 4,291.68 | 女性グループへ貸出中 | 有 | |
| 34 | 08年10月 | 刺繍用ミシン | SIGER Fasion 4205 | 2 | 4850.01 (2424.99/台) | 女性グループへ貸出中 | 有 | |
| 35 | 08年10月 | キャビネット | 4 Gabetas | 1 | 2,288.99 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 36 | 09年1月 | 冷凍庫 | 7P3 color blanco Modelo FFC0723DW | 2 | 5912.00 (2,956.00/台) | 女性グループへ貸出中 | 有 | |
| 37 | 09年1月 | シルクスクリーン印刷機 | 6*20D OBLI Pulpo 6 tintas2 estaciones | 1 | 6,764.58 | 女性グループへ貸出中 | 有 | |
| 38 | 09年1月 | シルクスクリーンアイロン | ME40*40-GD con teflon | 1 | 4406.00 | 女性グループへ貸出中 | 有 | |
| 39 | 09年2月 | キャビネット | 2 puertas | 1 | 3422.53 | プロジェクト事務所 | 有 | |
| 40 | 09年2月 | 乾燥用棚 | 50*50/50 charolas RSN1101G | 2 | 8,583.37 (4,291.68/台) | 女性グループへ貸出中 | 有 | |
| 41 | 07年3月 | 車両 | NISSAN Frontier SE T/M | 2 | 384,545.4 6(192,272.73/台) | プロジェクト事務所 | 有 | |

5-6 ローカルコスト負担実績

(1) メキシコ側

| 年度 | 金額 (メキシコペソ) | 備 考 |
|------|---------------|--|
| 2007 | MXN82,976.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 供与機材付加価値税 (38,455) ・ 車両税 (1,500) ・ 保険代 (11,340) ・ プロジェクト事務所整備費 (21,000) ・ 車両整備費 (10,681) |
| 2008 | MXN208,960.51 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員日当宿泊 (112,900.00) ・ 車両税 (2515.88) ・ 車両維持費 (10,665.40) ・ 運転手人件費等 (82,879.23) |
| 2009 | MXN47,614.11 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員日当宿泊 (16,100.00) ・ 車両税 (1,232.00) ・ 車両維持費 (330.02) ・ 燃料費 (2,600.00) ・ 運転手人件費等 (27,352.09) (※7/31 時点) |

(2) 日本側

| 年度 | 項 目 | 金額 (円) | 備 考 |
|------|-------------------|------------|---|
| 2006 | 機材購入費 | 4,150,000 | 供与車輛 2 台 |
| 2007 | 一般業務費 | 11,022,000 | 傭人費、消耗品費、通信費、資料等作成費、現地研修費など。2007 年度精算額。 |
| 2007 | 機材購入費 | 3,752,000 | 2007 年度精算額。 |
| 2008 | 一般業務費 | 11,376,000 | 傭人費、消耗品費、通信費、資料等作成費、現地研修費など。2008 年度精算額。 |
| 2008 | 機材購入費 | 529,000 | 2008 年度精算額。 |
| 2009 | 一般業務費 (7 月末時点) | 713,380 | 傭人費、消耗品費、通信費、資料等作成費、現地研修費など。 |
| 2009 | 機材購入費 (7 月末時点) | 0 | |

1US\$=13.52 ペソ

1US\$=89.76 円

(2009 年 10 月 1 日現在)

添付資料 6 活動実績

| 活動 | 進捗状況 |
|---|---|
| 1-1. 女性や女性グループが受けられる支援スキームの情報を整理し、取りまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報の取りまとめは完了した。 ・情報は電子情報としてパワーポイント形式で整理されており、女性庁の情報システムに組み込まれる予定。電子ファイルのドラフトが完成している（第5号進捗報告書に添付）。 |
| 1-2. 市場調査を実施して、市場の現状やニーズを把握する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2007年10月～11月にかけて市場調査を実施、2008年2月～3月にかけて補足調査を実施、調査結果は市場調査報告書に取りまとめ、現状とニーズを分析・把握した。 ・2007年8月、女性庁長官と生産強化部長がニューヨークで開催された国際民芸品フェアと民芸品市場セミナーに参加。 ・2009年7月7日にテクニカル・コミッティー（TC）メンバーを対象としたマーケティング研修を実施した。 |
| 1-3. 民芸品店から民芸品市場の情報を入手し、既存の情報を更新する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・販売促進支援活動の中で市場情報の収集を実施。市場調査・開拓担当団員が本庁のカウンターパートを指導し、C/Pは、OJTで経験を積んでいる。 ・2009年7月に民芸品改善・開発団員が販売店を訪問し、プロジェクトで作成した製品の販売状況や、民芸品市場の現状に関する情報を収集した。収集した情報は、ミーティングを通じて専門家とC/Pの間で共有した。 ・プロジェクトで支援している女性グループと販売店の連携の構築を目的とした販売店の訪問、および女性グループへの販売促進研修を2009年10月に実施。 |
| 1-4. プロジェクト対象地域の現状や女性グループのニーズ調査を実施する | <ul style="list-style-type: none"> ・2007年6月に農村迅速調査手法の研修を実施、2007年度中に6件の現地調査を実施してOJTで実施方法を技術移転した。調査済みの6村の調査報告書を作成した。その後、第2年次中にC/Pのみで2件の農村迅速調査を実施。 |
| 1-5. 追加調査を実施し、情報を更新する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2008年11月に2村にて追加調査を実施し、情報を更新した。 |
| 1-6. 民芸品の生産に必要な材料の情報を収集・整理する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト活動を通して探し出した自然素材や比較的品質の良い材料を販売している店舗および材料のリストを作成した（進捗報告書5号に添付）。今後、民芸品生産のための研修ガイドに盛り込む予定。 |
| 2-1. 生産支援に係る研修経済開発部（対象3支部を含む）の機能と責任範囲を明確にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修経済開発部全体で実施してきた業務の整理を行い明確にした。研修経済開発部の職員の参加のもと、2007年11月～12月にかけてワークショップを実施して、同部の業務内容を聞き取りまとめた。同部の業務を遂行するために必要となる基本的な機能を整理し、部の業務マトリクスを取りまとめた（進捗報告書2号内に記載）。 ・現場の活動を通じて専門家とC/Pで民芸品改善・開発支援プログラムを構築することで、プログラム構築機能の強化を行っている。 |
| 2-2. 現状に適した生産支援に係る研修経済開発部内戦略を策定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・とりまとめられた部の業務マトリクスを踏まえ、部の業務フローを作成し、2008年8月に説明・協議を行った。業務フローを詳細化する形で、業務マニュアルを2009年3月に作成した（第5号進捗報告書に添付）。 ・実質的に研修経済開発部の「戦略」はこれまで存在しなかったが、今後はプロジェクトで構築を進めている「支援モデル」が研修経済開発部の「戦略」となる。この |

| | |
|---|--|
| | <p>モデルは女性庁の生産強化分野の支援の戦略として、女性庁長官に理解されている。</p> |
| <p>2-3. 生産支援に係る計画の立案、モニタリング、評価の手法を習得する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007年7月に、女性庁の幹部職員と対象地域の支所長を対象としたPCM計画立案研修を実施した。 ・ 2009年7月、プロジェクトのTCのメンバーを対象としたモニタリング手法研修を実施した。 |
| <p>2-4. 生産支援に係る計画の実施管理(モニタリング)を行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性庁本庁の職員を対象にしたワークショップを2007年12月に実施し、プログラムの核になる「民芸品生産強化のための女性グループ組織能力マトリクス」を作成した。第3年次はこのマトリクスをもとに支援活動の実施管理を行っている。 |
| <p>2-5. 実施した活動の結果を用いて、支援プログラムの業務マニュアルを作成する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援プログラムの構成を、上述のマトリクスを取りまとめた「研修ガイド」、研修コンポーネントを含めた支援プログラムの「実施マニュアル」、そしてプログラムの構成や位置付けを示した「民芸品作成支援プログラム」の3要素とした。プロジェクト開始以降実施してきた現場での実際の活動をもとに、2009年度からプログラムの取りまとめに入った。2009年中にドラフトを作成し、プロジェクト終了までに内容を検討し、加筆・修正してプログラムを完成させる予定である。 |
| <p>3-1. 支援スキームを持つ組織との会議の開催などを通して情報を共有する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007年10月にプロジェクトキックオフイベントを実施し、州政府組織、連邦政府組織、市行政組織（市役所）、女性グループなどの招待を通じ、プロジェクトと関係機関との関係構築を始めた。 ・ 2008年3月に、合同調整委員会（Joint Coordinating Committee : JCC）メンバーに女性庁以外の主要関係機関を加え、第1回合同調整委員会を実施した。JCCは、プロジェクト関連での関係機関との定期会議の場になっている。終了時評価の前までに4回（中間評価時を含む）開催し情報共有を行った。 ・ 2008年8月から、女性庁のイニシアティブによる関係機関との連絡調整委員会（現在はTCとして機能）が発足した。TCでは、プロジェクトの進捗について報告を行い、関係機関と意見交換する。終了時評価の前までに3回実施した。 ・ 2009年7月に行ったTCメンバーを対象とした研修(モニタリング手法)を活用して、今後の取り組みに関する情報交換を行った。 |
| <p>3-2. 民芸品製作者と協力者/民芸品販売店とのマッチングなどのイベントを実施する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ マヤ文化のデザイナー、元民芸品ブティック経営者、自然素材民芸品工房デザイナー、民芸品生産組織、民芸品作成支援NGOとの関係を構築した。 ・ 2007年12月、製作した商品の品評会をヌエボ・ドゥランゴで実施した。同月、民芸品生産者スタディツアーを実施し、ミチョアカン州のパツァロの陶器製造者（メキシコ先住民）を訪問した。 ・ 2008年6月には、2007年度の支援対象5グループの民芸品改善・開発研修修了式を実施し、関係者の生産現場の理解を促進した。また、ユカタン州の州立民芸品店を2009年2月に訪問して、今後のビジネスの可能性を検討した。また同月、民芸品スタディツアーを実施した。 ・ 2009年度にホセ・マリア・モレロスでの研修修了式が行われ、関係者の理解を促進した。 |
| <p>4-1. 対象地域において、支援対</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007年度の活動を踏まえ、女性グループの選定基準を作成した。その基準を用いて2008年度の支援対象グループを選出した。 |

| | |
|---|--|
| <p>象となる女性グループを発掘し選定する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間評価時の提言を踏まえ、最終年次の支援対象地域であるフェリッペ・カリージョ・プエルトでは、プロジェクトが直接関わる形での支援は実施しないこととなった。女性庁主導で 2010 年の活動計画にフェリッペ・カリージョ・プエルトでの活動を立案・実施することを、2009 年 8 月の JCC で合意した。 |
| <p>4-2. 他の組織が持つ女性や女性グループの活動を支援するスキームの活用ガイドラインを作成する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性グループが受けられる支援スキームの情報をもとに、女性グループ配布用の活用ガイドラインを整理して、支援プログラムに添付する予定。 |
| <p>4-3. 講師の所在を確認し、支援の実施に活用する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人的リソースの活用のため、活動を通して見出したポテンシャルの高い人材の技術レベルを向上させることとした。メキシコシティ及びニューヨークにおける研修に、プロジェクトで支援の対象としている女性グループの代表者を送り、インストラクターとしての能力を向上させた。 ・ 2009 年 7 月に、バジャドリドの民芸品店のオーナーが講師となって研修を実施した。そのほかプロジェクトで支援した女性グループのメンバーのうち、技術レベルの高いメンバーが講師となって、他の支援グループの指導にあたっている。 |
| <p>4-4. 既存の民芸品とその作成技術を評価し、民芸品の改善と新製品の開発を行う(デザイン改善、生産プロセス改善を含む)。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 民芸品作成技術の評価は、民芸品改善・開発専門家により、ラサロ・カルデナス地区では 2007 年度に実施済み。ホセ・マリア・モレロス地区では 2008 年度に実施した。 ・ ラサロ・カルデナス市とホセ・マリア・モレロス市で、デザイン・品質改善のための研修を実施した。研修には、木工製品の作成指導、品評会のアドバイスを受けた製品の改善を含む。2008 年後半から 2009 年 8 月にかけて、民芸品改善・開発専門家によるフォローアップを実施した。販売実績をもとに、必要に応じた商品の改良を加えている。 ・ 国立人類学博物館との関係を構築し、収集・保管されている品物を含め、訪問・見学ができるようになった。展示品を民芸品デザインの参考とした。 |
| <p>4-5. 民芸品の生産管理の指導を行い、生産された商品の販売促進を支援する(イベントやウェブページの開設を含む)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のような販売促進イベントを行った。 <ul style="list-style-type: none"> (2007 年 12 月) ラサロ・カルデナス市 5 つのグループの製品の品評会を実施。 (2008 年 3 月) 国際女性の日に開催された祝賀会の会場で、ラサロ・カルデナスの 5 つのグループが作成した試作品を展示し、同会に参加した州知事への説明を行った。 (2008 年 6 月) 第 2 年次の支援対象 5 グループの研修修了式を実施し、民芸品オーナー、市役所、国家先住民開発委員会 (Comisión Nacional para el Desarrollo de los Pueblos Indígenas : CDI) やキンタナ・ロー州村落地域先住民開発局 (Secretaría de Desarrollo Agropecuario e Indígena del Estado de Quintana Roo : SEDARI) などの関係者を招待して、関係者の生産現場の理解を促進した。 (2008 年 11 月) ホセ・マリア・モレロス地区のグループを対象に、コスト計算と価格設定の研修を行った。 ・ 2008 年前半に調整を行い、2008 年 8 月から女性庁のウェブページにプロジェクトの紹介が掲載されるようになった。 ・ 2008 年 7 月以降、ほぼ半年に 1 回のペースで、これまでに 3 回、プロジェクトニュースレターを作成した。 |

| | |
|--|--|
| <p>4-6. 民芸品を製作する対象女性グループに対して、組織の形成と機能強化の指導を行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007年11月に、組織化に関するカリキュラムの内容を検討し、女性グループ組織機能マトリクスに取りまとめた。 ・ ラサロ・カルデナス市とホセ・マリア・モレロス市の選定されたグループに、組織化の意味を理解することを目的としたワークショップを、各グループ1回実施した。 ・ 2009年2月、支援対象グループと、ビジネスへの取り組みと、法人格の取得の重要性に関するミーティングを実施した。 ・ 2009年6月～7月に女性グループを訪問し、支援を実施している2地区（ラサロ・カルデナスとホセ・マリア・モレロス）ごとに、グループの代表者による組合の構築に着手した。 ・ 2009年8月、グループ代表者を対象としたワークショップを各地区4回ずつ計8回実施し、法人格の取得に向けた女性グループの合意を得た。合意を受け、外務省の出張所において法人名称の確認を行った。確認ののち、登録手続申請書への市長の署名を得て、2009年8月末、女性庁の法務部での最終確認に入った。 |
| <p>4-7. 実施した活動の結果を用いて、研修ガイドを作成する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2009年3月に女性庁が中心となって活用する研修ガイドのドラフトを作成した。2009年度中にドラフトを改善し、より実践的なプログラムとする。ラサロ・カルデナス及びホセ・マリア・モレロスで作成したプロトタイプの販売結果を支援プログラムの中にフィードバックし、実際の活動がプログラムに反映されるよう、配慮する。 ・ 2009年8月21日のJCCで、支援プログラムの構成概要を報告した。 |
| <p>5-1. プロジェクト実施上必要な情報を整理し、情報管理の仕組みを作る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ BaseCampというWebベース上のデータ管理サービスを用いて、インターネットベースで情報のやり取りができる取り組みを2008年6月より開始した。女性庁本部及び支所との情報共有のため、ホセ・マリア・モレロスとラサロ・カルデナス支所にインターネットを導入した。 |
| <p>5-2. 情報共有を目的に、データを情報の仕組みに更新する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は、専門家が中心となって、プロジェクト情報のアップロードを、継続的に実施しているが、2009年8月より、研修経済開発部の職員が、プロジェクト専属C/Pとして配属され、この職員が情報システムに参加し始めた。 |
| <p>5-3. 情報の収集・共有について協議・合意するために、情報部との連携を構築する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトで第3年次から導入・活用している情報システムを、女性庁に導入することを目的に、2009年度から情報部と継続的に協議を実施した。その結果、情報部と情報システムの導入に関して合意ができ、情報部部長から女性庁長官に対して、情報システムの導入が提案された（2009年8月）。 |

別添 7 面談者リスト

キンタナ・ロー州女性庁

Cecilia Rosalía Loría Marín

Augusto César Salgado Sangri

Vanessa Rodríguez Morales

Daniela Ix Benitez

Ausnción Rovelda Aragon Lorenzana

Mirna Flores Cobos

Grethel E. Cárdenas Palomo

Angel S. Canto Ake

Abelardo Hernández Aosta

Mildred v. Coral Garcia

長官

経済社会開発部部長

生産強化部門チーフ

生産強化部門チーフ

アシスタント/インストラクター

アドミ・アシスタント

本技術協力プロジェクト担当

財務部部長

情報部部長

企画評価部部長

女性庁ホセ・マリア・モレロス支所

Yesenia Ortiz Estrella

David Arreola Pacheco

支所長

研修・生産強化担当

女性庁ラサロ・カルデナス支所

Trinidad Ancona Chi

支所長

経済省 (Secretaría de Economía) キンタナ・ロー州支所

Victor Braulio Salgado Pedraza

Juan Carlos Jimenez

Olga Clara Marquez

キンタナ・ロー州副支所長

中小企業基金チーフ

事業振興部アシスタント

キンタナ・ロー州経済開発局 (Secretaría de Desarrollo Economía)

Elena C. Ortega Ricalde

技術部長

キンタナ・ロー州村落地域先住民開発局 (Secretaría de Desarrollo Rural de Indígena)

Hernan Herrera Jimenez

Carmen

副所長

フェリッペ・カリージョ・プエルト担当

国家先住民開発委員会 (Comisión Nacional para el Desarrollo de los Pueblos Indígenas)

Patricia Guarneros Marcue

キンタナ・ロー州代表

女性グループ

Adolfo Lopez Mateos コミュニティ

Maria 会長

その他女性 11名、男性 1名（男性は出納係）

Presumida コミュニティ

Maria 会長

その他女性 5名（監査役、書記、他 3名）

Nuevo Durango コミュニティ

男性 1名、女性 2名（書記含む）

San Francisco コミュニティ

Cristino 会長

その他女性 4名

Agua Azul コミュニティ

Leticia 会長

その他女性 4名（1名は出納係）

Sacalaca コミュニティ

Leticia 会長

その他女性 8名（うち出納係 1名、書記 1名）

San Felipe Oriente コミュニティ

Lanberta 会長

その他女性 3名

Hotel Maroma

Jean バイヤー

その他店員 1名

外務省

Efrain del Angel Ramirez 二国間協力課長アジア担当

在メキシコ日本国大使館

岩下誠

二等書記官

JICA 事務所

室澤智史

所長

L.A. Raquel Verduzco Dávila

プログラムオフィサー

専門家チーム

和田泰志

総括／組織強化

キャンディス・E・クルーメル

民芸品改善・開発

戸田めぐみ

市場調査・開拓

徳末明子

業務調整

(敬称略)